

# 研修を外部に頼らず、内部で実施したい！

しかし実際は、知識はあっても講師としてのスキル不足のために、研修がなかなかうまく進まない・・・ということはありませんか？

- ☑ 相手に分かりやすく伝えるためのロジカルプレゼンテーションスキルを高めたい。
- ☑ 一方的な講義だけでなく、受講者の議論を盛り上げたり、理解度を深めるために効果的なインストラクションスキルを身に付けたい。
- ☑ 研修結果の評価方法を知りたい。

## 社内講師養成研修（3日間）

★社内のニーズに合わせた効果的な研修プログラムの設計と実施を目指す★

### 時間・場所

- ホーチミン** 2024年11月6日-7日-8日（水、木、金）
- 時間：8:30 ~ 16:30
  - 場所：T Floor, Nam Giao 1 Building, 261-263 Phan Xich Long, Ward 2, Phu Nhuan Dist.
- ハノイ** 2024年11月13日-14日-15日（水、木、金）
- 時間：8:30 ~ 16:30
  - 場所：12th Floor, Indochina Plaza Tower, 241 Xuan Thuy, Dich Vong Ward, Cau Giay Dist

### 対象者

研修を担当する社内講師、部下や後輩を教育指導する立場にある方、監督者等

### 概要

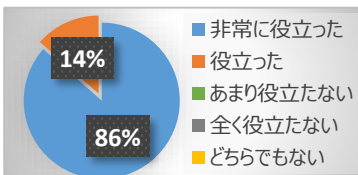
- 【言語】 ベトナム語
- 【受講料】 8,100,000 VND/人  
(3回ランチ付き、VAT 除く)  
※特別割引：1社2名以上申し込みの場合は  
**5%OFF、5名以上の場合は10%OFF**  
(ホーチミンとハノイ会場は区別)
- 【実施形式】 オフラインで実施します。
- 【定員】 **HCM:** 28名 - **HN:** 30名  
(定員になり次第、申込受付を締め切らせていただきます。ご了承下さい)。
- 【申込方法】 添付「Application form」にご記入の上、Eメール (training-vn@aimnext.com) にてお送り下さい。

### 講師

#### Ms. T.T.P.Thanh (タン)

- ホーチミン人文社会科学大学、国際経営学部を卒業。
- Capitol大学（米国）の経営学修士（MBA）を取得。
- 30年以上に渡り、人事とサービス分野に関する経験、マネジメントの役割を担う（トレーニング部の部長、人材発掘およびコンサルの副社長）。

### 研修の評価



これまで37社の企業様、155名の受講者にご利用いただきました。  
\* 回答者数：148名

### 狙い

- 社内のニーズに合わせて研修プログラムを設計し、実施することができる。
- 受講者が知識を理解した上で実際の仕事に活かせるよう、参加型研修に必要な様々な演習方法を身に付ける。
- 研修結果を適切に評価できるようにする。

### 内容

#### 第1章：講師に求められる要素

- 講師に適した性格（キャラクター）とは
- 必要な知識や講師として必要なスキル

#### 第2章：“研修”とは

- 『教育』と『コーチング』と『指導』の違い
- 社内研修のメリット
- “大人に教える”際に考慮すべきポイント

#### 第3章：研修運営のプロセス

##### 1. ニーズ分析

- ニーズ分析（TNA）
- 研修計画の立て方

##### 2. ゴールと研修プログラムの設計

- 研修のゴール設定
- 研修プログラム設計の5ステップ
- 研修スケジュールの設定

##### 3. 研修資料の作成

- パワーポイントやワードによる資料作成
- 受講者用資料と講師用資料
- 講師用ノートの書き方

##### 4. 研修実施前の準備

- 研修に必要な情報の準備
- 研修に必要なツールの準備
- 研修会場の準備とレイアウト

##### 5. 効果的な研修の進め方

- 効果的な演習方法の選択  
～ 分かりやすいプレゼンテーション  
～ 意見を引き出すグループディスカッション  
～ 理解度を深めるケーススタディやロールプレイング  
～ 一体感をうみ、意識が高まるゲーム設計  
～ 人を動かすストーリーテリング
- OJTによるコーチング方法

##### 6. 研修結果の評価

- 研修結果の評価フロー
- 評価方法

#### 第4章：まとめとアクションプラン

※内容は若干変更となることがございます

### 受講者の声

- 研修を通じてプレゼンテーションの独創的なスライドの作成方法・プレゼンテーションの際の振る舞いを身に付け、スライドに頼らず自信を持って発表できるようになったので、役立った。（2015年開催時の受講者より）
- 聞き手に対する双方向のコミュニケーションスキルを身に付けることができたので、役立った。（2015年開催時の受講者より）